

## 医師の確保対策について

年度別・病院別医師数

(各年度4月1日現在 単位:人)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
がんセンター	71	70	71	70	72	69	75
救急医療センター	40	40	40	40	39	37	36
精神科医療センター	11	10	12	11	12	11	13
こども病院	55	56	55	56	57	62	65
循環器病センター	51	50	50	51	51	49	50
東金病院	20	18	21	24	23	17	12
佐原病院	26	28	29	28	27	23	19
計	274	272	278	280	281	268	270

医師数は、正規職員と医員(嘱託)の合計数

## 【医師不足の影響】

平成18年4月～ 佐原病院 循環器科・小児科は外来のみ実施  
産科は分娩を休診

平成17年4月～ 東金病院 耳鼻科、消化器科、呼吸器科の休診

平成16年4月～ 東金病院 眼科、神経内科の休診  
佐原病院 眼科の休診

## 【医師確保対策】

## 1 当面の対策

千葉大学など医学系大学への協力要請

常勤医師の不足している診療科についてパート医師等の活用

県立病院間での医師の有効活用

民間人材紹介会社の活用

ホームページ等を活用した募集

## 2 中長期的な対策

医師臨床研修制度の実施(千葉県病院群として平成16年度から)

16年度7名、17年度15名、18年度13名 の研修生の受入れ

専門医育成のためのレジデント制度を実施(平成18年度から)

18年度3名の研修生 の受入れ

# 看護師の確保対策について

## 年度別・看護師数

(単位:人)

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
4/1 職員数	1,140	1,191	1,171	1,141	1,191
4/1 産育休等数	49	58	56	61	73
4/1 実質職員数	1,091	1,133	1,115	1,080	1,118
年度中退職者数	97	110	126	99	-

産育休等は、産前産後休暇、育児休業、休職等の職員の合計数

### 【看護師の退職等の状況】

産育休等の取得者の増加

平成14年度から育児休業の取得年数が3年となったため、当面、育児休業取得者が復帰者を上回り、産育休等の取得者数は増加している。

毎年約100名の退職者

看護師については、毎年、10%前後の退職率であり、100人前後の退職者がいることから、常に補充の必要がある。

### 【看護師確保対策】

#### 1 募集活動(採用選考試験関係)

採用年齢の緩和

(平成17年度から、採用年齢を35歳から40歳に引上げ。)

試験実施内容の変更(平成18年度から教養試験を作文に変更)

臨時採用選考試験の実施(平成17年度2回、平成18年度1回実施済)

県外試験会場の増加(2箇所 3箇所)

広報の充実

(学校訪問、説明会の実施、DVD作成、ホームページ活用、新聞広告等)

#### 2 定着対策

メンタルヘルス相談事業の実施(平成18年4月~)

看護業務の改善等(代休取得の促進)

福利厚生制度の充実

#### 3 養成対策

研修の実施

認定看護師等の養成等(研修派遣)